

平成23年度第3回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		平成23年12月1日(木曜日)林野庁中央会議室	
委員		前原一彦(公認会計士) 鍛冶良明(弁護士) 近田直裕(公認会計士、税理士)	
審議対象期間		平成23年4月1日～平成23年6月30日	
審議対象案件		46件 うち、1者応札案件13件 契約の相手方が公益社団法人等の案件5件	
抽出案件		7件 (抽出率15%) うち、1者応札案件1件 (抽出率8%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件 (抽出率20%)	
工事	一般競争		2件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	指名競争	公募型指名競争	一件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		工事希望型競争	一件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	その他の指名競争	その他の指名競争	一件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		随意契約	一件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
抽出案件内訳	一般競争		一件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	指名競争	公募型競争	一件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		簡易公募型競争	一件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	その他の指名競争	その他の指名競争	一件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		公募型プロポーザル	一件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	随意契約	簡易公募型プロポーザル	一件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		標準型プロポーザル	一件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	その他の随意契約		一件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	一般競争		5件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	指名競争		一件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
物品・役務等	随意契約(企画競争・公募)		一件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	随意契約(その他)		1件 うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
(特記事項) ・抽出の7件については、1者応札や改札率の低かったもの等を抽出した。			
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問 (詳細に記述すること。) (別紙のとおり)	回答等 (詳細に記述すること。) (別紙のとおり)
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]		該当なし □	□

事務局:林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

	意見・質問	回答
委員からの意見 ・質問、それに に対する回答等	<p>工事関係</p> <p>【抽出番号1：森林技術総合研修所庁舎耐震改修工事設計・監理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の発注業務に伴う工事は別発注することになるのか。 ・設計、工事、監理を一括発注する方法があると考えるが、工事を別に発注すのは何故か。 ・受注業者は、以前にも受注実績はあるのか。 ・設計監理会社は多くあると思うが、1者応札となった理由は、何かあるのか。 ・参加資格とした延床面積4,000m²以上の実績がハードルが高かったのではないか。 ・受注業者には、O.B.はいるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。 ・不適切な工事の防止の観点から、工事は別に発注することとした。 ・過去に耐震診断に関する業務の実績がある。 ・多くの応札者を想定していたが、結果的に1者となったもので、1者応札になった理由は不明である。 ・小学校程度の延床面積であり、ネックになったとは、思わない。 ・いない。
	<p>物品・役務等関係</p> <p>【抽出番号1：平成23年度森林吸収源インベントリ情報整備事業（土壌等調査試料収集分析業務）（西日本ブロック）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該調査は、例年実施しているものか。 ・入札金額にばらつきがあるようであるが、過去の実績から入札金額の推測はできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は、平成19年度から実施している事業である。 ・最低価格落札入札方式で実施したのもあり、入札当日、同事業の6物件中の6番目に入札したもので、前応札で落札できなかつたため、低価格で応札しと聞いている。
	<p>【抽出番号2：平成23年度森林吸収源インベントリ情報整備事業（土壌等調査（試料収集分析業務）（中部・近畿ブロック）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役所の再就職者1名となっているが、最終役職を伺いたい。 ・抽出番号1の落札業者が、この物件への応札がないが、理由は何かあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他省の出先機関の部次長で退官した者である。 ・全国組織の会社であるが、当該発注ブロックの支社が小規模であるため応札しなかつたものと推測する。
	<p>【抽出番号3：平成23年度森林内における放射性物質の分布状況等に関する調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再委託費の内容は何か。 ・落札者以外の応札業者と比較すると非常に低価格での入札金額となっているが、理由は何か。 ・ほかに要因はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落札業者は福岡県の業者であり、福島県内の現地調査に関するものを再委託するものである。 ・分析費用が低価格で積算されているためである。 ・ほかの応札者は、コンサル会社で

	<ul style="list-style-type: none"> ・当該経費は移替経費となっているが、どのような取り扱いになっているのか。 ・落札業者の事業遂行能力の判断は、どのように行ったのか。 	<p>あり、分析費用等の再委託費に費用が割高になるのではと推測する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射能のモニタリング関係については、文部科学省一括で予算計上をしており、事業内容により関係省庁に配分され事業を実施するものである。 ・当該業者は、既に福島県内での調査実績を有していること等から、問題はないものと判断したところである。
	<p>[抽出番号4：平成23年度木質系震災廃棄物等の活用可能性調査（岩手県域調査）（2号契約）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術点はどのように決定しているのか。 ・評価項目（業務従事者の経験・能力）の「有効な資格等をもっているか。」で差がついているが、どのような理由なのか。 ・岩手県域以外の落札者は、どのようにになっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案会を開催し、評価基準に基づき審査して採点しているところである。 ・当該事業の従事予定者の資格等により評価をしたため。 ・ほかの3物件は、それぞれ別の者が落札している。
	<p>[抽出番号5：平成23年度森林整備事業の費用対効果分析手法等検討調査業務]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不落随意契約となっているが、契約金額はどのように決定されるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札金額が最も低価格であった者から再見積を徴収し決定している。
	<p>[抽出番号6：レクリエーションの森などに設置する掲示板の作成業務]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札無効が1者あるが、理由はなにか。 ・他の入札者に比べ、落札者が安価ができる理由があれば、伺いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代理入札者の記載がなかったため。 ・掲示板の材料が、提携先業者でのスッタックがあると聞いており、安価での材料入手が可能になるのではと推測する。
	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会としての意見はないが、委員からの意見等については適宜考慮して、今後の発注業務を進めて頂きたい。 	